

JR 東日本水戸支社と「地域活性化連携協定 3.0」を締結しました

茨城県信用組合と東日本旅客鉄道株式会社水戸支社は、2022年3月に「地域活性化連携協定」を締結し、これまで多くの成果を上げてきました。2025年3月には、連携をより深化させるため「地域活性化連携協定 2.0」を締結しました。このたび、新たに連携協定を結び、さらに挑戦を加えながら、持続可能な地域活性化の実現を目指してまいります。

1 概要

- (1) 目的：茨城県内事業者の事業拡大支援と地域活性化に取り組むことを目的に相互連携する。
- (2) 協定期間：2026年4月1日（水）～ 2027年3月31日（水）

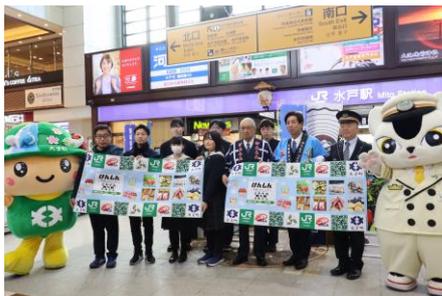


茨城県信用組合渡邊理事長(左)とJR 東日本水戸支社下山支社長(右)



2 これまでの取組み・成果

- (1) 地域活性化連携協定（2022年～2024年）
 - ・商談会（主に首都圏への販路拡大）実施：25回／成約件数：25件
 - ・物販催事回数：15回
2023年 水戸駅にて「けんしんエキナカマルシェ」を開催（2回）
2024年～ 自治体と連携した「けんしんエキナカマルシェ」を開催（6回）
- (2) 地域活性化連携協定 2.0（2025年）
 - ・商談会（主に EC 販路拡大）実施：22回／成約件数：19件
当選すると JRE ポイントがもらえる定期預金「茨城わくわく定期」を発売
ポイントが使える EC サイト「JRE MALL」に出店する事業者の出店支援
 - ・物販催事回数：5回
自治体との連携に加えて、教育機関と連携を図りマルシェを開催
「けんしんエキナカ“アグリ”マルシェ」：鯉淵学園農業栄養専門学校
「けんしんエキナカ奥久慈マルシェ」：茨城県立大子清流高校



けんしんエキナカマルシェ



荷物輸送「はこビュン」の様子



茨城わくわく定期

3 地域活性化連携協定 3.0 の内容

(1) けんしんエキナカマルシェの深度化

- ・自治体に加えて教育機関等、地域事業者と連携強化
- ・商材にスポットを当てた催事展開
- ・首都圏や水戸駅以外での開催による事業者の販路拡大

(2) 列車荷物輸送「はこビュン」の活用

- ・けんしんエキナカマルシェや催事イベントと掛け合わせたマルシェの展開
- ・速達性を活かし鮮度の高い商材をお客さまにお届けする

(3) JRE MALL への出店支援拡大

- ・EC サイト出店希望事業者との商談会の実施拡大および販売促進
- ・体験型コンテンツの出品拡大